

Musashi Academy of the Nezu Foundation
-Nezu Museum Collaborative Forum

Gardens, Paintings, and Natural Landscape

登壇者
武蔵大学リベラルアーツ&
サイエンス教育センター長
踊共二氏
根津美術館 副館長兼
学芸部長
野口剛氏
根津美術館 顧問・
茶道宗和流十八代
宇田川宗光氏
根津美術館 理事
島尾新氏
武蔵学園記念室 調査員
藤橋弘朋氏
富山大学 名誉教授
徳橋曜氏
慶應義塾大学 文学部 教授
後藤文子氏

庭園・絵画・ 自然景観

第2回
根津育英会武蔵学園・根津美術館連携フォーラム



根津美術館の茶室「披錦斎」



武蔵学園「濯川」

人と芸術、自然の関わりを考える。

2026
11/7 (土)

ハイブリッド開催

武蔵大学8号館 8702教室／オンライン配信

13:30-16:30

参加無料／事前申込制

※先着順・定員になり次第締め切ります。



学校法人

根津育英会武蔵学園

武蔵大学 武蔵高等学校 武蔵中学校

根津美術館
NEZUMUSEUM



参加申込はこちら
申込締切 11/4④



【主催】学校法人 根津育英会武蔵学園 【企画】武蔵大学リベラルアーツ&サイエンス教育センター 【特別協力】公益財団法人 根津美術館

庭園・絵画・自然景観

学校法人根津育英会武蔵学園（武蔵高等学校・中学校・武蔵大学）と公益財団法人根津美術館はともに根津嘉一郎初代の文化的事業にもとづいて誕生し、発展を遂げた組織です。

今回のフォーラムの目的は、東西世界の庭園・公園緑地などの人工的空間、森林・山河をはじめとする自然の造形に注目しながら、人間生活と自然景観のかかわりについて多面的に考察することにあります。とくに目を向けたのは、人為と自然の共存と相互作用です。根津美術館の庭園がそうであるように、日本の庭園は人工的に整備されているが、自然の生命の息吹を失っていません。いわゆる借景によって人為と自然を融合させる場合もあります。茶の湯の文化が庭園と深く関係していることは言うまでもありません。ヨーロッパに關しても、イギリスの風景庭園のように自然の要素を重んじる例があります。またヴェルサイユ宮殿にみられるように、きわめて人工的なバロック庭園と木々の生い茂る樹林を組み合わせたケースもあります。そして高い石壁に囲まれた都市空間にも、中世以来さまざまな形で緑がとりこまれていきます。

本フォーラムでは東西世界の庭園・自然景観についてだけでなく、画家たちが描いた庭や自然の風景についても論じます。もちろん茶の湯と庭園の結びつきもとあげます。レクチャーは合計4本で、それぞれの分野の専門家が平易に語ります。インフォメーションのセッションでは、根津美術館の庭園の由来と現在の姿について、またこのフォーラムの会場である武蔵学園のキャンパスの緑について、加えて学校山林の森林資源についての紹介を行います。

主な参考写真



庭園（水・木々・鶯）根津美術館提供



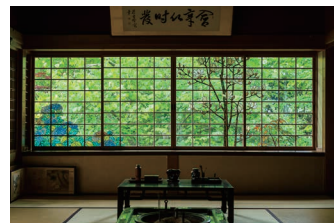
ヤマゼリ標本 1924年 武蔵高等学校中学校蔵



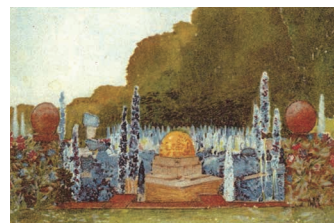
根津嘉一郎と弘仁堂 根津美術館提供



ローマ近郊の田園風景 1639年 クロード・ロラン



小川三知作 四季花木障子（宮越家）
中泊町博物館提供



J.M.オルブリヒの色彩花壇 1905年
Allgemeine Gartenbauausstellung Darmstadt, Ausst.-kat.

当日のプログラム

ハイブリッド開催

- 会場参加：武蔵大学8号館8702教室
- オンライン参加：武蔵大学よりライブ配信

レクチャー
日本の庭園と襖絵：
外界を内へ取り込んでゆく



根津美術館 理事
島尾 新氏

専門は室町時代の絵画史だが、東アジアの水墨画を筆・墨などの素材を含めて幅広く研究している。

イントロダクション
「自然」をとりこむ文化と芸術：
東西世界の違いは何か？



武蔵大学リベラルアーツ&
サイエンス教育センター長
踊 共二氏

近世ヨーロッパとくにスイスの文化と社会がおもな研究対象。東西文化の比較も手がけている。

インフォメーション②
武蔵学園のキャンパスと
学校山林：百年の森と緑



武蔵学園記念室 調査員
藤橋 弘朋氏

武蔵高等学校卒。東京大学にて植物分子系統学を専攻。ITエンジニアの傍ら東大博物館で調査作業に従事。

インフォメーション①
根津嘉一郎の庭園と自然



根津美術館 副館長 兼
学芸部長
野口 剛氏

尾形光琳と円山応挙を中心に近世絵画史を研究。初代根津嘉一郎の屏風絵蒐集に関する論文もある。

レクチャー
中近世ヨーロッパの
都市環境・自然・庭園



富山大学 名誉教授
徳橋 曜氏

中近世イタリア都市の社会と文化、環境を主に研究。公証人の社会的位置付けにも関心を向けている。

レクチャー
茶の湯と日本庭園



根津美術館 顧問・
茶道宗和流十八代
宇田川 宗光氏

茶道宗和流十八代。茶事や日本文化の普及に取り組む。著書『なんとなくわかる茶の湯』を執筆。

レクチャー
ドイツ近代の自然庭園：
生命的形態と色の探究



慶應義塾大学 文学部 教授
後藤 文子氏

近代ドイツの芸術・デザインを研究。芸術と自然を結ぶ行為として芸術家によるガーデニングに注目している。

参加申込方法 | 参加無料／事前申込制

申込締切 11/4⑧

1 Web申込

右記 QR コードより
申込フォームにお進みください。
<https://web.634.co.jp/seminar/938/>



2 申込完了 & 配信URLのお知らせメール

- 申込完了メールを受信して参加申込は完了です。
- 会場参加の方：当日会場までお越しください。
- オンライン参加の方：前日までに参加URLをメールにてお知らせいたします。

お問い合わせ ●参加申込について：フォーラム事務局(direct@634.co.jp)にお問い合わせください。
●その他全般：武蔵学園 総務部総務課 TEL 03-5984-3712（平日9時～17時）

【個人情報の取り扱いについて】

いただいた個人情報は、本学園の個人情報保護指針に従い厳重に管理し、本フォーラム実施並びに統計的集計を行う目的以外に使用することはありません。



学校法人
根津育英会武蔵学園
武蔵大学 武蔵高等学校 武蔵中学校



〈会場〉武蔵大学 東京都練馬区豊玉上1-26-1